

日本プロセス化学会第 50 回理事会 議事録

日時：2025（令和 7）年 7 月 23 日（水）16:00～18:00

会場：タワーホール船堀 4 階 会議室「402 号」

〒134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1

出席者：秋山隆彦、赤井周司、村瀬徳晃、水船秀哉、大嶋孝志、青山恭規、大東 篤、中島範行、中村嘉孝、川崎昭彦、関 和貴、前田賢二（清水仁 代理）、栢野明生、丸山貴久、福田展久、安河内宏昭、三好徳和、間瀬暢之、有友啓一、松村和彦、高島好聖、井上宗宣、川中康史、小森 岳、間瀬俊明、塩入孝之、富岡清、佐治木弘尚、左右田茂、橋本光紀
蓮 芳文、植村 威士、柴崎 貴雄、田中 貴将、小宮 志央、福井 伸明、平井 邦博、大森 雅之、齊藤 颯、臼谷広次

欠席者：稲越直人、小野木昭二、竹内祐希、高柳大、高須清誠、半田道玄、長澤和夫、林雄二郎

審議事項

1. 役員の交代について審議し、承認された
退任（7 月末）

清水仁理事（中外製薬）

稲越直人理事（MICIN）

新任（8 月 1 日より）

前田賢二 中外製薬（株）製薬技術本部 製薬研究部長

布施新一郎 名古屋大学 大学院 創薬科学研究科 基盤創薬学専攻 教授

2. 2024 年度 決算案について審議し、承認された（赤井）

監事監査報告があった。（間瀬）

次年度より、シンポジウムの決算については収入見込も記載することとなった。

3. 2025 年度予算案について審議し、承認された（赤井）

4. その他

予算書に次年度繰越金を記載することとなった。

報告事項

1. 2024 年ウィンターシンポジウムについて報告された（水船）

世話人：水船秀哉（スペラファーマ）、間瀬暢之（静岡大）

会期：12/6

会場：アクトシティ浜松

午前（第 1 部）： 日本プロセス化学会特別企画『教育講演：次世代のプロセス化学に求められる先端技術』（招待講演 2 件）

午後（第 2 部）： 招待講演 4 件（アカデミア 2；企業 2）+ JSPC 優秀賞受賞講演

参加人数 370 名（事前登録 306 名，当日参加 64 名），

情報交換会 239 名（事前登録 196 名，当日参加 43 名）
企業展示ブース（展示ブース 10 社，バナー広告 3 社）

2. 2025 年サマーシンポジウム準備状況について報告された（関）

世話人：関和貴（富士フイルム和光純薬），庄司満（横浜薬科大学）

会期：7/24~25

会場：タワーホール船堀

午後：招待講演 12 件（アカデミア 6；企業 6）

事前登録者 839 名；ポスター発表 116 件；企業展示 118 社；情報交換会 570 名（定員に達したため、途中打ち切り），当日申込不可

予稿集は 1200 部発注

3. 2025 年ウィンターシンポジウム準備状況について報告された（川崎）

世話人：川崎昭彦（ナードケミカルズ），大野浩章（京都大学）

会期：12/5

会場：京都テルサ

（情報交換会会場：京都テルサでの開催が困難なため京都駅直結のザ・サウザンド京都に移動して開催

午前：将来計画委員会で特別企画として教育講演（2 講演）を計画

日本プロセス化学会特別企画『流れと混合の理解によるプロセスコントロール』

浅野周作（九州大学）、伊藤久師（中外製薬）

午後：招待講演 5 件（アカデミア：後藤佑樹（京大），永木愛一郎（北大），王子田彰（九州大），企業：川上裕二（小野薬品工業），下間文人（日本たばこ産業））+ JSPC 優秀賞受賞講演
講演終了後、会場を京都駅直結のザ・サウザンド京都に移し情報交換会を 18 時より開催予定。

4. 2026 国際シンポジウムについて経過報告された（赤井）

会期：2026 年 7 月 1 日（水）～3 日（金）

会場：アクトシティ浜松（静岡）

組織委員会：赤井（委員長），佐治木，秋山，村瀬，水船，青山，大嶋，栢野，間瀬（暢之），林市村清新技術財団および浜松・浜名湖ツーリズムビューローへの助成金の申請

招待講演 企業 9 件、アカデミア 4 件

海外 9 件、国内 4 件

すべての演者から確約済み

5. 地区フォーラムについて報告された（三好）

東四国地区フォーラム

2025 年度第 1 回（第 37 回）日本プロセス化学会東四国地区フォーラムセミナー

2025 年 6 月 21 日（土）

講演会参加者 120 名（学生 93 名、一般 27 名）

ポスター発表・情報交換会にも 93 名（学生 68 名、一般 25 名）

東四国フォーラム第 40 回記念大会について

三好理事より東四国フォーラムについて説明があった。

15年目の開催。コロナ以降で参加者が100名を超え、コロナ以前に戻った。

次年度冬に第40回の記念大会を開催予定（2027年10-1月）

6. 教育コンテンツについて報告された（水船）

執筆者（下表）ならびに Reviewer の多大なるご尽力の結果、最終稿が完成した。今般、開示方法を協議したい。

【開示方法（案）】プロセス化学学会 HP ページに掲載し、会員限定ですべてのページをアクセスできるようにする。一方、入会促進のために、例えば3章のみを一般にも開示する。

章	表題	担当理事・機関
1	プロセス化学への誘い	塩野義
2	医薬品開発とプロセス化学はどうかかわっているか	住友ファーマ
3	プロセス化学の役割	将来計画委員会
4	環境に配慮する	アステラス
5	実験室とどう違うか	カネカ
6	合成ルートをどう選ぶか	第一三共
7	溶媒の選び方	スペラファーマ
8	反応剤・触媒をどう選ぶか	中外
9	反応危険性の評価と対策	日産化学
10	品質保証のために	エーザイ
11	法規制にはどのようなものがあるか ～医薬品の品質確保と品質保証のために～	日本たばこ

開示方法について

ホームページ（閲覧のみ、SWAYにて公開）

- ・3章 全員
- ・1-11章 会員限定公開
- ・理事会、将来計画委員所属機関に限り PPT の使用を許可（所属機関の外には出さない）
自社で教育コンテンツとして使用可能

7. 将来計画委員会（2025年7月23日（水））から報告があった（蓮）

プロセス化学ラウンジおよびウィンターの午前中のセッションについて

第15回プロセス化学ラウンジの報告

世話人：白谷弘次（住友ファーマ）、山下陽平（アステラス製薬）

会期：2024/12/5-6

会場：浜名湖弁天島リゾート THE OCEAN

参加人数：58名（演者、幹事含む）

第16回プロセス化学ラウンジ準備状況

世話人：平井邦博（味の素），大森雅之（エーザイ）

会期：2025年11月28, 29日

会場：東レ研修センター（三島）

参加費：20000円（予定）

将来計画委員の交代，増員について

委員長交代：蓮 芳文（第一三共）→小宮 志央（中外製薬）

副委員長交代：植村 威士（田辺三菱）→福井 伸明（塩野義製薬）

委員交代：江島 佑紀（スペラファーマ）→齊藤 颯（スペラファーマ）

蓮 芳文（第一三共）→鈴木 恵介（第一三共）

新任：白谷 弘次（小野薬品）

アカデミア委員も1～2名追加の予定。次回理事会で報告する。

8. 出版委員会から報告があった（赤井）

日本プロセス化学会創設25周年記念誌の発刊について

New Horizons of Process Chemistry (2017 発刊, Springer)の第2版について

高須委員長を中心に準備中

9. 日本プロセス化学会のホームページについて報告された（秋山）

10. 1st Sino-Japanese Symposium on Process Chemistry (SJPC2025)について報告された（秋山）

会期：2025年6月22, 23日

会場：上海有機化学研究所（SIOC）中国

11. プロセス化学会の今後の方向性について報告された（秋山）

12. 今後のシンポジウムの予定について報告された（水船）

環太平洋国際化学会議 2025 (The 2025 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies (Pacifichem))

会期：2025/12/15-20（シンポジウムは，12月15日，16日，17日（午前）に開催）

オーガナイザー：林雄二郎，秋山隆彦，Prof. Dawei Ma（上海有機化学研究所），Dr. Kevin M. Maloney (Executive Director, Head of Process Chemistry, Merck)

2026 サマーシンポジウム

ISPC 2026 として開催。

組織委員長：赤井

会期：2026年7月1日（水）～3日（金）

会場：アクトシティ浜松（静岡）

2026 ウィンターシンポジウム

会期：2026年12月4日（金）

世話人：有友啓一（田辺三菱製薬），和田猛（東京理科大）

会場：タワーホール船堀

例年通り、シンポジウム部分は午後半日で開催（午前は将来計画員会主催の教育的講演会）
プログラム構成も例年通りで招待講演 4 演題、2025 サマーシンポポスター賞受賞者の講演 3 演
題の計 7 演題の講演を予定、招待講演 4 演題については調整中（3 演題について内諾済）

2027 サマーシンポジウム

会期: 2027 年 7 月 8 日（木）～ 9 日（金）

世話人: 大東篤（アステラス）、大嶋孝志（九州大）

会場: タワーホール船堀

2027 年のウィンターシンポジウム以降について、世話人を募集中。

なお、会場については、下記に留意する。

（タワーホール船堀の改修工事*のために別会場の検討が必要、アクトシティ浜松も候補）

*2027 年 1 月から 2029 年 5 月ごろまで改修工事の予定だったが延期

2028 年 1 月から 2030 年 5 月ごろまで改修工事の予定

タワーホール船堀、アクトシティ浜松、京都テルサなどが会場候補。